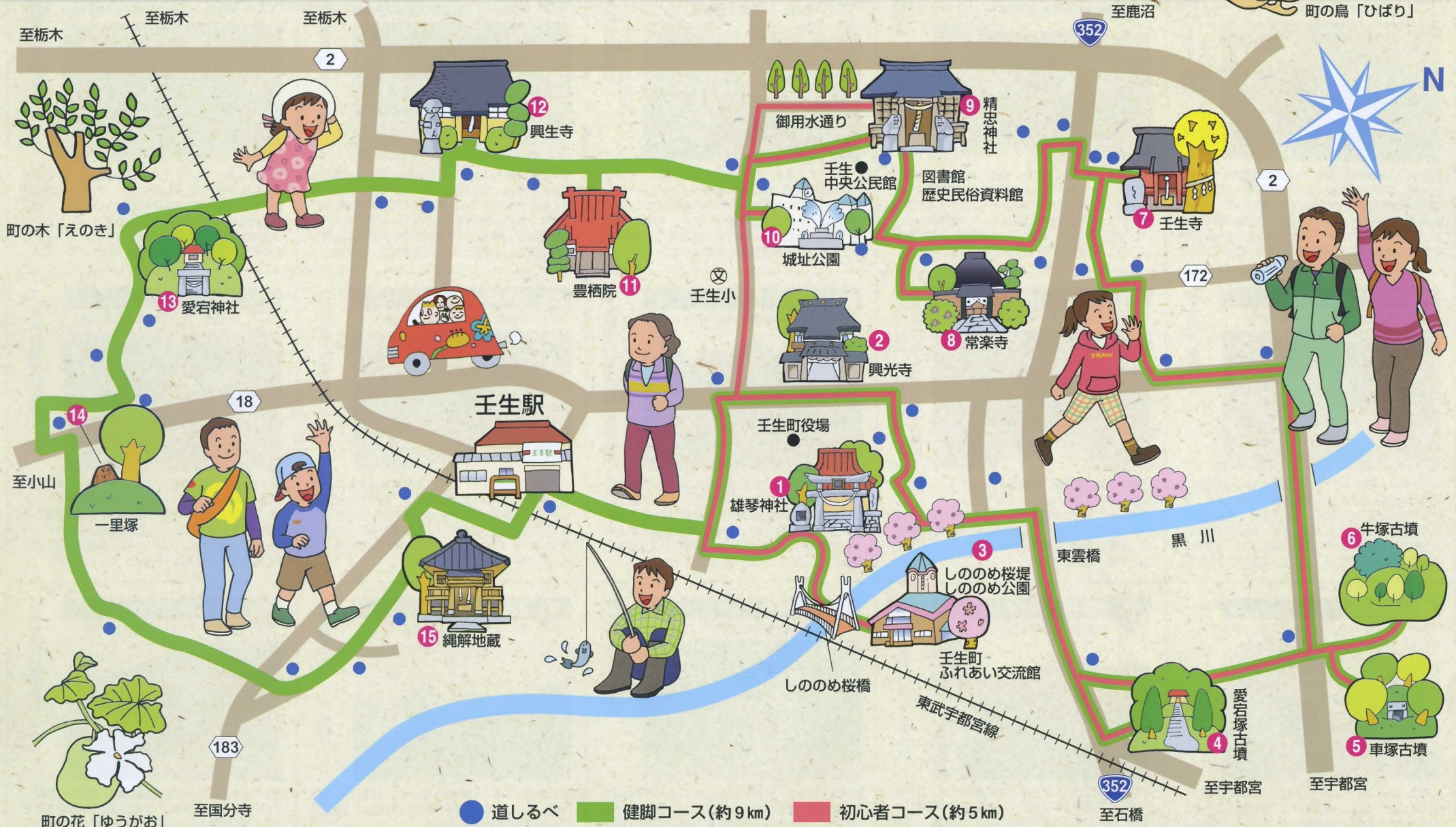


散策コース

ふるさと・ふれあい・みぶの道
(ゆうがおウォーキングコース)



町の鳥「ひばり」



壬生町観光協会

壬生町通町12番22号 ☎0282-81-1844

散策コース・見どころ紹介

1 雄琴神社

所在地…壬生町通町18-55



寛治5年(1091)の創建と伝えられ、ご祭神は天照大神・天武天皇・舎人親王。かつては雄琴神社と称していましたが、壬生の初代城主・壬生彦五郎胤業が、その祖である小槻今雄公を合祀して社号を改めました。天和5年(1685)、時の城主・三浦君敏守が社殿を造営しています。9百年にわたり壬生の織氏神として広く篤い信仰を集めています。銅製の鳥居は県指定文化財になっています。

伊勢へ七度、熊野へ三度、雄琴様へは月詣り

2 興光寺

所在地…壬生町通町7-13



應永年間(1394~1428)、良納上人によって福和田に開かれ、慶安4年(1651)徳川家光公のお骨を日光に送納するに先立ち、本陣松本家の隠居所であった現地に移り、通夜が行われた寺です。この時幕府から、「葵」の紋が贈られています。子育て吞龍上人像を尊置し、他に、戊辰戦争の政府軍官修墓地などがあります。

三代将軍・家光公ゆかりの寺

3 東雲桜堤

所在地…壬生町大字壬生



「明け方」を意味する「東雲くしののめ」と名付けられた横周辺には、250本のソメイヨシノが咲き誇ります。桜の時期には多くの花見客が訪れ、夏には鮎を追う釣り人たちで賑わいます。下野近代医学発祥の地であり、江戸時代には橋下流に「河岸」が設けられ、舟運の要衝でもありました。

栃木県名勝百選「しののめの桜」

4 愛宕塚古墳

所在地…壬生町大字壬生甲字三好町



国の指定史跡となっている前方後円墳です。墳丘は二段に造られ、全長が約77m、高さが約5mあります。墳丘のまわりには、逆盾形に堀と土塁が巡っています。なお、前方部に祀られている愛宕神社は、元禄の頃(1694)、壬生城主松平輝貞が壬生城の鬼門除けとして建立したと伝えられています。

頂上に神社のある古墳

5 車塚古墳

所在地…壬生町大字壬生甲字車塚



墳丘は三段からなり、その直径は80mを越える県内屈指の大円墳です。塚の周りには、深い堀と土塁が巡り、古墳が造られた当時の姿を現在に留めています。墳丘南側には、巨大な凝灰岩で造られた横穴式石室が口を開けています。車塚古墳は、壬生地内の大型古墳の中では、最後の権力者の墓と考えられています。

全国屈指の大円墳

6 牛塚古墳

所在地…壬生町壬生甲字車塚



牛塚古墳は、東側にある車塚古墳とともに、国の指定史跡となっています。墳丘の全長は47mほどあり、上から見た形が帆立貝に似ていることから、帆立貝型の前方後円墳と呼ばれています。現在、堀のほとんどは埋もれていますが、近年の発掘調査により、車塚古墳同様深い堀と土塁が巡っていたことが確認されています。

帆立貝式古墳

7 壬生寺

所在地…壬生町大師町11-17



天台宗の第三世座主・慈覺大師円仁(794~864)のお生まれになった所として有名です。境内には、大師ご誕生の折にその水を使ったといわれる「産湯の井戸」や、樹齢約4~5百年、高さ22m、周囲5.1mにも及ぶ天然記念物の「大いちょう」などがあります。

慈覺大師円仁誕生の地 節分祭(とちぎの祭り百選)

8 常楽寺

所在地…壬生町本丸1丁目1-30



壬生初代城主・壬生筑後守胤業公が、室町中期寛正3年(1462)創建した曹洞宗の寺。江戸中期から、壬生城主・鳥居家の菩提寺となりました。豪商加藤作太夫一族の墓、御典医(蘭方医)斎藤玄鳥先生(二宮尊徳先生の主治医)歴代の墓等があります。開山手植えの糸ひばは、樹齢約550年。

壬生城主(壬生家・鳥居家)菩提寺

9 精忠神社

所在地…壬生町本丸1丁目9-13



江戸時代の正徳2年(1712)から明治維新まで、代々壬生藩主であった鳥居家の先祖・鳥居元忠公を祀る社です。境内の「豊塚」は、元忠公が伏見城で自刃した際血を流した量が、江戸城伏見櫓階上におかれていたが、明治維新により城を明け渡されるときに、その量を保ったとされます。

鳥居元忠公を祀る

10 城址公園

所在地…壬生町本丸1丁目8番



壬生城の本丸跡に整備された公園で、おしゃれなブロンズ像や噴水が、訪れた人達の心をなごませてくれます。壬生城は、文明年間(1469~87)壬生頼重の築城といわれ、明治維新まで代々領主の本拠となりました。公園内には、中央公民館・図書館・歴史民俗資料館があり、教育文化の拠点になっています。

三方石の城下町公園

11 豊栖院

所在地…壬生町本丸2丁目14-7



当院は、應永年間(1848~54)伊勢屋火事の大火に遭い、堂・塔・伽藍・旧記・古画像をすべて焼かれました。文久2年(1862)、当院24世・雲外和尚の手によって現在の本堂が建立され、昭和55年(1980)に客殿、60年(1985)には庫裡が建てられました。壬生藩のお抱え給所平出園耕(1749~1823)を顕彰した「園耕山人の碑」があります。

12 興生寺

所在地…壬生町本丸2丁目15-31



平安時代の開創と伝えられる真言宗の古刹。江戸時代は壬生城主代々の祈願所で、本寺の格式を誇ったそうですが、今は庶民の憩える静かな境内に、元禄年間(1688~1703)建築の本堂・薬師堂などがたたずんでいます。下野三十三観音霊場の一つで、町指定天然記念物の榎(かや)の大樹もあります。平成15年、本堂は老朽化が目立つため修復された。

下野観音第二十一番札所

13 愛宕神社

所在地…壬生町表町4-15



愛宕様の祭神は、伽藍土の神といい、火を司る神様です。京都市の愛宕神社を総本山として、全国に祀られています。当町でも元禄時代頃(1692~95)、城主・松平輝貞公が、火防の守りとして愛宕神社を造営されました。表町4カ町の守り神として、親しまれています。8月24日の例祭には、子供相撲が奉納されます。

表五カ町の守り社

14 壬生一里塚

所在地…壬生町表町8番



江戸時代に、江戸日本橋を基点に36町を1里(約4km)とし、街道の両側に設けられた塚で、塚の上には主に榎が植えられました。壬生一里塚は、日光西街道に設けられた一つで、江戸日本橋より23里(約92km)の地に当たります。国指定史跡。

日本橋から二十三番目

15 縄解地藏(なわときじぞう)

所在地…壬生町駅東町6-23



壬生に城を築いた小槻彦五郎胤業が、京都から勧請して祀った地藏尊。「縄解」とは苦しみを解放されることで、信仰によって罪ある者さえ解放されたといわれ、京都洛西の壬生寺「綱目地藏菩薩」、三重県名張市の「延命地藏菩薩」とともに、「日本三體地藏尊」と呼ばれています。毎月4月下旬に例祭があります。

日本三體地藏尊の一つ